

教材No.	補3	中小企業のこれから
関連教科	公民（公共／政治・経済）	

■教材の概要

- ①中小企業の現状を扱う単元において、生徒が中小企業に関する課題等を自分事として捉えられるよう、主体的に調査を行う中でその実感を得られるようにする。
- ②自身の地域における中小企業の活躍を知ることによって、中小企業が自ら価値創造に取り組み、これからの社会において価値提供に向けた活動を推進する必要があることを理解する。

■学びの流れ

段階	活動内容	指導上の留意点、教材作成の狙い
導入 5分	<ol style="list-style-type: none"> 1 中小企業に対してどのようなイメージを持っているかを考え、発言する。 2 中小企業の定義が法律で定められていることを知る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 中小企業に対して抱いているイメージを問いかけ、数名からその場で率直な発言をしてもらう。 2 中小企業基本法において、業種ごとに中小企業の定義がされていることを説明する。時間的余裕があれば、定義内で出てくる「資本金」について解説し、もしくは調べさせ、具体的な理解を促す。また、業種に着目して追加調査をさせてもよい。
展開1 15分	<ol style="list-style-type: none"> 3 中小企業の現状について、企業数や従業者数等のデータを自ら調べることによって、実態を把握する。また、あわせて調査を通じて感じたことをメモとして書き留めておく。 4 中小企業が日本経済の中で重要な役割を担っている一方で、経営上の課題が山積していることを理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 3 経営者の平均年齢に着目したデータも調べさせることによって、事業承継に関する課題が喫緊のものであることを理解してもらうようにする。 4 必要に応じて、経済の二重構造や事業承継、資金調達等に関する課題を紹介する。
展開2 25分	<ol style="list-style-type: none"> 5 高度経済成長期から現代に至るまでの間に、中小企業に対する期待や位置づけが変わってきていることを理解する。また、今後中小企業がどうあるべきかを自ら考えてみる。 6 自身で考えた「あるべき今後の中小企業像」に近い中小企業を、自身の地域内から探し、その特徴をまとめる。また、自身が経営者だと仮定した場合に、今後その企業をどのように成長させていきたいかを考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 5 中小企業が、救済される立場からイノベーションの担い手を求められる立場へと変遷し、期待役割が大きくなってきていることに触れる。また、昨今ベンチャー支援等も加速してきている中で、中小企業がどうあるべきかを考えるきっかけを与える。 6 地域を知るという観点で、可能な限り自身の地域内で調査することが望ましいが、地域内で適切な中小企業が見つからない場合には、地域外から探すことも許容する。中小企業が、何を強みとして市場で価値提供をしているかについて、事例をもとに理解を深められるよう促す。また、価値創造を支える手段として、知的財産権の取得・活用に取り組んでいるかどうかを調査の視点として投げかけてみる。 ※なかなか見つからない場合には、例えば以下サイト（もしくは末尾記載のURL）を参照するのも一案。 https://www.jpo.go.jp/support/example/document/kigyou_jireii2020/all.pdf
まとめ 5分	<ol style="list-style-type: none"> 7 経済社会における中小企業の意義について理解する。また、中小企業による価値創造と、これからの社会で担うべき役割を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 7 我が国の経済社会において中小企業が重要な役割を担っていることと、中小企業であっても知的財産等の活動に取り組んで、価値創造の活動に取り組んでいくことが重要であることを知ってもらう。

■ 目標

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
経済社会を構成する中小企業について、基本的なデータを調べ、実態を理解するとともに、どのような課題があるかを認識する。	中小企業の位置づけを理解した上で、今後の経済社会の中でどのような役割を担っていくべきか、様々な視点から考え、自身の考えとして整理することができる。	地域の中小企業を調べることで、中小企業を取り巻く課題を自分事として捉え、今後の方向性等について主体的に考える姿勢を身につける。

■活動の狙い（知財創造教育の要素との関係）

段階	尊重			創造			社会		
	人間の心を尊重する	既存のアイデアを尊重する	他者の強みを尊重する	課題を見つける	解決策・アイデアを考える	アイデアを表現する・伝える	自他の暮らしや人生を豊かにする	持続可能な「社会・文化」に貢献する	「未来」に貢献する
導入				●					
展開1				●				●	●
展開2		●		●	●	●		●	●
まとめ		●						●	●

■参考文献

No.	文献名称	URL等
1	中小企業庁WEBサイト	https://www.chusho.meti.go.jp/ https://www.chusho.meti.go.jp/soshiki/teigi.html https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/chousa/chu_kigyocnt/2018/181130_chukigyocnt.html
2	中小企業に関する事例集等（中小企業庁WEBサイト）	https://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shogyo/old_panf.html
3	中小企業に関する事例集等（特許庁WEBサイト）	https://www.jpo.go.jp/support/example/index.html https://www.jpo.go.jp/support/example/document/kigyou_jirei2020/all.pdf